

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

上武 郷の家

グループの名称

こだまエコスクラム

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名

吉田 正

代表者印

代表者所属先

株式会社 吉田建設

代表者所在地

埼玉県本庄市児玉町秋山2733

代表者電話番号

0495-72-0128

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社 吉田建設

事務局担当者名

吉田 英一

印

事務局郵便番号

367-0213

事務局所在地

埼玉県本庄市児玉町秋山2733

事務局電話番号

0495-72-0128

事務局FAX

0495-72-3538

事務局担当者E-mail

office@yoshida-knst.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	確認申請書を提出した時点で事務局に配分申請をすることができる。確認申請済証の日付順に配分する。ただし、その時点で「住宅省エネルギー技術講習会」の講習を修了していることとする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 上武 郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県・群馬県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) こだまエコスクラム	(結成年) 2017 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	埼玉県・群馬県は内陸性気候で夏は40℃近い酷暑になり、冬は赤城おろしが強く吹き乾燥した寒さが特徴です。断熱や気密の性能を上げることがもちろん、夏の暑さ対策として遮熱の性能も重視したい。平成28年度省エネルギー基準以上の断熱性能を確保し、軒の出を深くした風通しの良い住宅にする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木造在来軸組工法による真壁造りを基本とする。梅雨時や真夏の高温多湿、真冬の乾燥した寒さに対処するためのエアコンや暖房器具による室内の乾燥で、木材の割れや反りなどが発生しないように、構造材の含水率を15%前後、内装材の含水率を10%以下にするように努める。床や腰、天井にも赤松や杉、桧などの国産無垢材を積極的に使う。遮熱Low-e複層ガラスの断熱サッシを基本とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	其々の住宅の建設地の、季節ごとの風向き等を考慮し、東西あるいは南北に風が抜ける開口を配置し、屋根は切妻の瓦葺きを基本とし、軒の出、妻の出ともに深くする。夏の焼け込みを防ぐために、屋根下地に遮熱シートを張り、外壁通気、屋根通気を確保する。	○
④①～③の背景	熊谷市(埼玉県)や館林市(群馬県)では真夏の気温が40℃を超え、秩父市(埼玉県)や沼田市(群馬県)では真冬の明け方には-10℃以下になり地域の寒暖の差が激しい。冬の北西からの季節風は「赤城おろし」と呼ばれ、乾燥した冷たく強い風が吹く。この地域には中仙道や鎌倉街道沿いの宿場町が連なり、瓦葺きの切妻屋根で軒の深い町屋の家並みが残っている。一方、農村部には養蚕が盛んだったころの高窓のついた切妻屋根の民家が散在している。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	太陽光発電や太陽熱利用、雨水利用なども積極的に啓蒙していく。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	土台、柱は120mm角	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心になって4か月ごとに検討会を行う。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 検討会の開催・建材や資材の情報伝達・各種講習会等の情報伝達	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「郷の家」施工マニュアル	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 基礎配筋と上棟時の軸組・金物等は瑕疵保証の第三者機関の検査と同時に。壁下地の透湿・防水シートの状態と完了検査は設計者立会で行う。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「郷の家」標準積算による。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施主の同意をいただけた物件では、構造見学会や完成見学会を行い、品質の向上を図り広く一般の皆様にも公開することで認知され、さらなる信頼性の向上につなげたい。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 上武 郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県・群馬県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) こだまエコスクラム	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	各社ごとに情報の管理を行う。	
①	住宅履歴情報の蓄積	◎
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 平面図・立面図・仕様書・見積書・契約書の写し・確認申請書一式の写し・メーカーリストを保存。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の判断により今後検討する。	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建物引渡し時に事務局に報告する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅の点検項目、点検時期にあわせる。	○
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 躯体・雨漏りに関する瑕疵については速やかに対応する。10年超の物件は施主と相談する。	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局に報告する。	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年8月にOB客のすまい管理勉強会「くらしのすまいりんぐ」を開催する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 毎年8月に実施する。	◎
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局にて随時受け付けて、専門技術者を派遣して回答する。	○
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心になり、OB客の維持管理の研修をおこなう。	○
⑤	その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 台風シーズンの前の6月と年末12月に「すまいのチェックシート」をOB客へ送付。	◎
b	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が調整して、他の構成員のうちの1社が残工事を請け負い、構成員がこれに協力する。	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JIOの瑕疵事例報告をもとに、自主勉強会を行う。	◎
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造見学会時に施工技術研修を合わせて行う。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「郷の家」施工マニュアルにより設計者のチェックを受ける。	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計者から事務局に報告する。	○
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各社の受注予定を事務局で集計して調整する。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工途中の物件を見て、グループの勉強会を行う。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工の精度、工期の短縮等の研修の為に、合同で施工実施を行う。	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 4	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 6	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が講習会開催情報等を伝達して参加を促す。	◎
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 太陽熱を床暖房と給湯に活用する。	○
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 上武 郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県・群馬県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) こだまエコスクラム	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台には米ヒバ120mm角、もしくは国産材桧120mm角を使用、柱は国産材の杉もしくは桧の120mm角を使う。梁・桁は米松。
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	高気密・高断熱で24時間換気を行い、エアコンの冷暖房の中で無垢の木材を構造材・造作材として使うには十分な乾燥が絶対条件だ。プレカット工場内の乾燥設備で、構造材は含水率10%前後まで、床板等は5%前後まで乾燥させる。徹底した木材乾燥ができなければ割れ・反り・ねじれ・収縮などのクレームにつながり、消費者の信頼性の向上は図れない。
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局とプレカット工場の連絡を月初めに定期的におこなう。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材単価は事務局とプレカット工場により各構成員に公開する。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 設計構成員と事務局で需給予測を行う。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 無垢の床板に置きタタミという和洋の雰囲気を活かす。
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 耐久性、遮音性に優れており積極的に利用する。
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 室内空間をかわやかに仕切る襖は和の要素として利用していく。
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和の雰囲気を窓の内障子として利用する。
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 小川和紙などを和室の腰壁として利用したい。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 養蚕農家にみられる高窓をつけて、自然の空気の流れをつくる。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 切妻の瓦葺きを基本デザインとする。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 深い軒下で大根や果実を干したりした。現代では深い軒下で夕涼みや洗濯物も干せる。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 街道沿いの町屋が並ぶ地域では白壁に瓦葺切妻平入りとして、街並みに馴染ませる。
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 真壁造りで柱・梁あわしの室内は、和洋折衷の大正浪漫風。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	上棟後の「構造見学会」と「完成見学会」は必ずおこない、多くの方に見ていただくことで地域工務店の信頼性を高めたい。
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	特になし	
平成28年熊本地震の復興に資する取組	特になし	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 上武 郷の家	(地域型住宅供給対象地域) 埼玉県・群馬県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) こだまエコスクラム	(結成年) 2017 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

認定低炭素住宅の供給を目標とし、UA値0.6未満、 η A値3未満、基準一次エネルギー消費量から20%以上の一次エネルギー消費量の削減をめざす。節水型大便器の採用、半数以上の水栓を節水型水栓にすること、主要構造部を木造にすること。この3点は「上武 郷の家」の標準仕様とする。